

平成 26 年 1 1 月 1 5 日

防衛医科大学校病院 堀口明男様

北海道（札幌）在中

### 尿道狭窄治療体験について

39歳の時に職場での健康診断で、血尿が出ていることが分かり総合病院で診察の結果、尿道狭窄の疑いがあり将来この状態が続くと尿閉になると言われ、手術を勧められました。手術後の2～3月間は順調でしたが次第に尿の出方が悪化し、尿道拡張ブジーに切り替わりました。年に3～4回で79歳までの40年間、頻尿など不自由な苦しい日々を過ごしていました。

この状態が一生続くと諦めていましたが、防衛医科大学病院の堀口明男先生のホームページで尿道形成術を知りました。

平成25年10月に当病院で診断の結果、再手術が可能と言われました。年齢から全身麻酔による不安もありましたが、永年の拡張ブジーから解放されることに期待し平成26年4月8日に手術を受け4月23日に退院しました。

その後、尿閉の心配もなく順調に経過しており、永年の苦しみから喜びの人生に代りました。